

初めて出会う抽象的な文章をどう読み解くか 著者自身による入試国語の「傾向と対策」

本学文学部の品川哲彦教授の著書『倫理学入門——アリストテレスから生殖技術、AIまで』(中公新書、2020年)は、この2年間で15大学、2高校の入学試験で、そのほか予備校の模擬試験などでも出題されてきました。入門書とはいえ、多くの高校生には初めてみる抽象的な内容の文章——それでもその場でその論理構造を把握して答えなくてはなりません。

本講座でこれまで「小論文が書ける生徒を育てる」などのテーマでお話ししてきました品川教授が実際の入試問題を著者の眼で読み、大学が求める読解力についてお話しします。

日時

2022年12月3日(土)・10日(土)
両日とも 14:40~17:10

場所

関西大学 千里山キャンパス

講師

関西大学文学部 教授 品川 哲彦

対象

高等学校教員・2日程とも受講可能な方

定員

50名 (先着順)

受講料

無料

申込締切

11月16日
(水)

申込方法・留意点

- 参加希望の方は、関西大学高大連携センターHP「教職員対象研修講座」のページ内にある本講座申込みフォームへ必要事項をご入力の上、お申込みください。
- お申込み人数が定員に達し次第締め切らせていただきます。
- 申込受付後、受講証をメールにて送付いたします。
実施日の3日前までに通知が届かない場合は、高大連携センターまでお問い合わせください。
- 新型コロナウイルス感染症の状況や自然災害等の事情により、やむを得ず中止または変更(延期やオンライン開催等)する場合がありますので、予めご了承のうえお申込みください。**
- 本講座は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じて実施します。
詳細は受講証送付時にご案内いたしますので、ご協力をお願いいたします。
- お申込み時にご記入いただいた個人情報は、本講座に関することのみを使用します。

